

第1回東海市3R活動地域推進員会議（報告）

と き 令和8年（2026年）7月2日（木）

午後6時30分～

ところ 東海市芸術劇場 中練習室1

1 出席者

(1) 推進員（6人）

平洲コミュニティ 蟹江 晃男様

船島コミュニティ 橘 右樹様

大田コミュニティ 久野 容一様

横須賀コミュニティ 小竹 紀夫様

加木屋コミュニティ 高津 和久様

三ツ池コミュニティ 貝瀬 正純様

(2) 事務局（リサイクル推進課）

河田部長、事務局4人

2 欠席者

緑陽コミュニティ 鴨下 直樹様

名和コミュニティ 小島 修様

渡内コミュニティ 中尾 太士様

明倫コミュニティ 田中 力也様

富木島ふれあいコミュニティ 成瀬 敏彰様

加木屋南コミュニティ 原竹 佐久美様

3 傍聴者

0人

4 会議録

(1) 委嘱状交付

(2) あいさつ

(河田部長よりあいさつ)

(3) 自己紹介

(委員自己紹介後、事務局自己紹介)

(4) 議題

ア 3 R活動地域推進員の活動について

(資料に基づき事務局から説明)

質問なし

イ 3 R推進協議会について

(資料に基づき事務局から説明)

平洲コミュニティ蟹江様を3 R推進協議会委員に選出したことを報告。

ウ 第4次東海市ごみ処理基本計画後期計画に基づく取り組みについて

エ 地域における3 R活動の啓発について

(資料に基づき事務局から説明)

【委員】

チラシの依頼文に記載してある「回覧・掲示板の数」は市全体の数か。

【事務局】

それぞれのコミュニティ内の数である。参考に記載したので、この数字より多くても少なくても構わない。コミュニティ内で活用できそうな数を決めていただきたい。

【委員】

「リチウムイオン電池の出し方」のチラシについて、充電式の家電製品が増えているが出し方がわからない。

【事務局】

リサイクルセンターの資源分別収集常設場で小型家電として回収している。また、大きさに制限があるが、市役所、しあわせ村、市民体育館に設置している小型家電回収ボックスでも回収している。

【委員】

それは何を見れば載っているのか。

【事務局】

「ごみと資源の出し方」の冊子や、ホームページに載っているが、チラシに掲載した二次元コードで開くページには小型家電の回収について詳しく載っていないため、ホームページをわかりやすく整理します。

【委員】

若い人は二次元コードを読み取って…と容易にできるだろうが、高齢者はできない場合もある。何でもホームページを確認させることはやめてほしい。ごみに混ぜないで欲しいなら、どう処分したらいいのかということがチラシで容易にわかるようにしてほしい。

【事務局】

出し方の場合分けが多く、すべて記載したら煩雑になってしまうため二次元コードで案内しているが、もう少しわかりやすくなるようデザインを工夫します。

【委員】

S A F のチラシについて回収するものは植物性油のみで、動物性油は対象外か。

【事務局】

液体状の植物性油に限る。

【委員】

そのことは書いていないのか。

【事務局】

小さいが注釈で入れている。あまり情報が多いと煩雑になってしまうため、このような書き方にしているが、表現を少し工夫して載せます。

【委員】

油を固めて捨てることは禁止なのか。

【事務局】

禁止ではないが、可能であれば資源化に協力してほしい。昨年度までは資源の常設場と拠点場のみで回収していたが、4月から市内6箇所に新たに回収ボックスを設置したので是非利用してください。

オ その他

【事務局】

多言語版のごみと資源の出し方啓発チラシを作成した。言語は、ベトナム語、中国語等11言語及びやさしい日本語があり、サイズはA4サイズとA3サイズで作成している。外国の方がごみ出しで困っているようであれば、必要な枚数配布するので、ご活用ください。

【委員】

東海市はどの国籍の方が多いのか。

【事務局】

ベトナム国籍の方が多いので、ベトナム語は特に多めに用意している。

【委員】

リチウムイオン電池の出し方は、多くの人を知るべき情報であるが、町内会に入っている人はどんどん少なくなって、回覧板でまわしても見る人が減っている。市の広報にチラシを挟んだ方が効果的なのではないか。

【事務局】

多くの人目に触れるよう、様々な媒体で啓発することが重要である。例えば、5月号広報で紙面には掲載したが、広報誌に挟み込むことができるチラシにも基準があり、紙面で紹介した内容は基本的にチラシで挟むことができない。バランスよく周知・啓発できるよう、委員の皆様のご意見も参考にしながらより良い方法を検討したい。

【委員】

カラス被害や、集積場所のトラブル等があった場合は、町内会や班からリサイクル推進課に連絡がいくのか。

【事務局】

町内会等から連絡いただくこともあるが、集積場所の近隣の住民から連絡いただくことも多い。市としては、連絡はどなたからでも受け付ける。

【委員】

広報誌は見逃すこともあるので、どんなトラブルがあったか、とりまとめたものをこのような場で配布していただくことは可能か。他の地域で起こったトラブルと解消方法がわかると、参考になる。

【事務局】

地域からあがった状況や解決方法を取りまとめたものをこのような会議の場で共有できるように検討したい。

【委員】

一人あたりのごみ量が年々減っているが、理由は市として分析しているか。例えば、「スーパーマーケット等での資源の回収が充実したから」「広報が効果的だったから」など。

【事務局】

理由は厳密にはわからないが、考えられるのは民間の資源回収ステーションの増加、市の資源回収品目の見直し、物価高による買い渋り、フリマサイト等リユース市場の充実があると考ええる。また、市民の資源に対する意識が高くなっていると感じる。

終了